

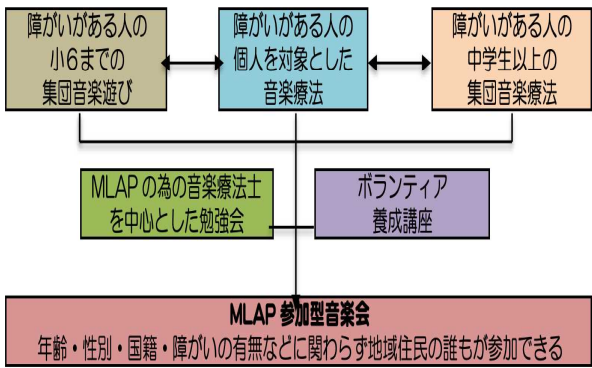
福岡市手をつなぐ育成会保護者会における参加型の音楽活動を軸にした実践研究

福岡市手をつなぐ育成会保護者会について

- 知的障がいのある人とその家族によって構成。
- 知的障がいのある人の権利擁護の団体として、障がいのある本人やその家族が安全・安心で幸せに暮らせる共生社会の実現を願って活動する。
- 障がいのある本人や家族の居場所や学びの場を提供したり、行政や他団体と連携したりしながら福祉活動等に協力している。
- 障がいのあるなしに関わらず、みんなが自分自身とお互いを尊重し合える社会を願って「手をつなぐ応援隊」というチームで啓発活動も実施。



＜ MLAP（ムラップ） Music with Life for All Project あらゆる人に生涯音楽プロジェクト ＞



＜生涯学習としての意義＞

- MLAPは、参加型音楽会を通して、自尊心の向上や精神的な安定を得ながら、自立や自律に繋がり、豊かな地域生活を送ることができるようになる効果をねらいとした生涯学習プログラムです。
- 障がいのある人が社会参加する機会が増えること、地域住民とともに活動することで障がいへの理解が進み、共生社会の実現にも寄与すると考えます。

＜MLAPの特徴＞

- MLAPが参加型音楽活動を手段とする理由は音楽の柔軟性、すなわち個人でも集団でも、CLOSEDでもOPENでも、身体と五感を使ったあらゆる参加方法がある（歌う、演奏する、リズムをとる、踊る、掛け合う、観賞するなど）からです。
- MLAPの特性を生かし、障がいニーズに合わせて楽しみながらコミュニケーション力を学習することができます。

＜今後の展開＞

- 音楽療法の視点から、障がい児・者の発達段階に応じた個人対象の音楽療法、集団音楽療法、集団音楽遊びなどを組み合わせ、専門家が障がい特性を生かす勉強会を重ねていく。
- MLAP活動を支援するボランティアの養成を図りながら、年齢・性別・国籍・障がいの有無などに関わらず地域住民の誰もが参加できるような体制づくりを構築します。

